

# 2016 年度活動報告 CJP 授業： インディペンデントスタディ 文法・読解 1

中野 陽（関西学院大学日本語教育センター）

蔭山 拓（関西学院大学日本語教育センター）

## 1. クラス概要

本クラスは日本語レベルプレ1～1（初級前半）の学習者を対象とするが、今学期の受講生はレベル1の学習者1名のみであった。1週間のコマ数は3コマである。クラス目標は、「①初級前半の表現を使って、簡単な日常会話ができるようになる、②身の回りのことについて、ある程度まとまった内容が表現できるようになる」である。使用教材は、『みんなの日本語 初級』（スリーエーネットワーク）の本冊、文法解説、標準問題集のそれぞれⅠとⅡである。

## 2. 授業内容

授業の内容は、通常の学期（春・秋）とは異なり、学習者が自ら学習計画を立て教師のサポートを得て学び計画の達成状況を管理するという自律学習形式をとった。具体的には、秋学期にレベル1で学んだ学習者（上述）が「秋学期の文法・読解1の内容について、自分が弱いところを知り、弱点を重点的に復習する」こととした。実際の教室活動としては、①授業開始時にその日の学習計画の確認、②自習および質問対応、③授業終了時に学習のふりかえりを行うこととした。そして、以上の自律学習と併せて別途必須課題（宿題）として、「標準問題集」の提出を定期的に課した。ただし、この課題はクラス内でもクラス外でも良いこととした。また、本クラスの学習成果を測る一つの指標として、学期のはじめと終わりに「標準問題集」の抜粋からなる同一のテストを行った。

## 3. 成果と今後の課題

学習者は学期を通じて、自主的かつ集中して学習に取り組んでいた。主に本冊の練習問題や標準問題集を使った学習をし、文法事項に関する疑問も都度教師に質問した。また、語彙については定着に時間がかかるものの、文法については学習者自身も伸びを実感したようだった。学期終了時の学習者アンケートでは、自身で立てた学習目標を達成できクラス外で学習するより多くの文法事項を学習できたので満足している旨の記述がされていた。